

いのちの光

尽きることのない あなたの愛が私を包む
溢れる喜び 全ての者があなたを歌う
闇を消し去るいのちの光
すべてを捨てた愛

手を伸ばして 光放て
あなたと歩むそれは素晴らしい
いのちの日々よ

驚き仰ぎみる

言葉にあらわせない思いを超えた
主の麗しさに比べるものはない
知恵と愛は深く量ることはできず
言葉にあらわせない王の麗しさ

※
主の御前に立ち驚き仰ぎみる
聖なる主あなたを仰ぎみます

主は御座におられる

1.主は御座におられる 聖なるお方
イエスの愛を受けて賛美を捧げよ
主の臨在の中で大いなる勝利を
ほふられた小羊に心から叫ぼう

※主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

2.主の聖なる宮に今我らは行こう
聖徒らと共に主の御前であがめよ

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4～7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1～4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
＝教員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
＝ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

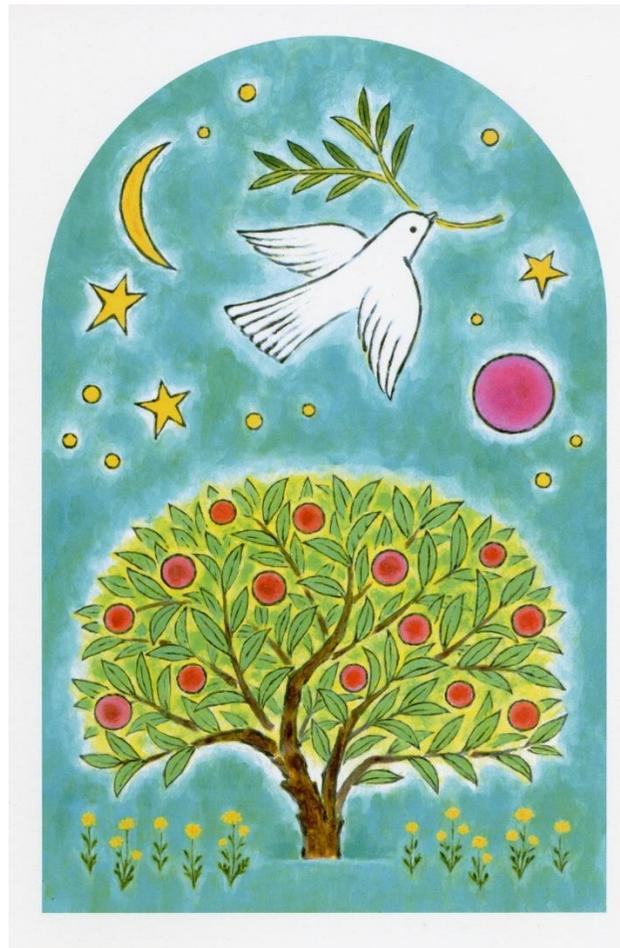
- ウクライナとロシアの戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様と一緒にですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



大和カルバリーチャペルの教員
日本画家 久住友理さんの作品より

祈りの小径(こみち)

Number: 173 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

歴代誌上15章1-3・25-29節

1 ダビデはダビデの町のうちに自分のために家を建て、また神の箱のために所を備え、これがために幕屋を張った。2 ダビデは言った、「神の箱をかくべき者はただレビびとのみである。主が主の箱をかかせ、また主に長く仕えさせるために彼らを選ばれたからである」。3 ダビデは主の箱をこれがために備えた所にかき上げるため、イスラエルをことごとくエルサレムに集めた。

25 ダビデとイスラエルの長老たちおよび千人の長老たちは行って、オベデ・エドムの家から主の契約の箱を喜び勇んでかき上った。26 神が主の契約の箱をかくレビびとを助けられたので、彼らは雄牛七頭、雄羊七頭をささげた。27 ダビデは亜麻布の衣服を着ていた。箱をかくすべてのレビびとは、歌うたう者、音楽をつかさどるケナニヤも同様である。ダビデはまた亜麻布のエポデを着ていた。28 こうしてイスラエルは皆、声をあげ、角笛を吹きならし、ラッパと、シンバルと、立琴と琴をもって打ちはやして主の契約の箱をかき上った。

29 主の契約の箱がダビデの町にはいったとき、サウルの娘ミカルが窓からながめ、ダビデ王の舞い踊るのを見て、心のうちに彼をいやしめた。

歴代誌上16章1-4節

1 人々は神の箱をかき入れて、ダビデがそのために張った幕屋のうちに置き、そして燔祭と酬恩祭を神の前にささげた。2 ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終えたとき、主の名をもって民を祝福し、3 イスラエルの人々に男にも女にもおのおのパン一つ、肉一切れ、干ぶどう一かたまりを分け与えた。

4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説

教会の前に飾られている「モーセの幕屋」の模型をご覧くださいましたか？紅海(葦の海)の真ん中、渴いた地を渡り、救いの恵みに預かったらイスラエルの民は、荒野～約束の地～そして新約の時代にかけて、「幕屋」「神殿」そして「教会(というコミュニティ/キリストのからだ)」を選び、建てさせ、神様の住まわれるところとされました。ですから、神の宮に向って(心を向けて)祈ることは大きな祝福です。神様はその神殿・教会で捧げる祈りを「今この所にささげる祈り」として目を注ぎ、耳を傾けてくださると、主は約束されました(歴代誌下7章)。



さて、モーセの幕屋からソロモンの神殿に、アップグレードする途中に、「ダビデの幕屋」というのがあります。移動式の荒野の幕屋をもって約束の地に入ったイスラエルですが、様々な敵国・先住民の攻撃を受け、とくにペリシテ人には悩まされて(士師記)、幕屋の中の最も大切な「契約の箱(Ark of the covenant)」を奪われたのです。

ダビデは、主のご臨在を象徴する、その契約の箱を取返し、エルサレムに安置します。そして、ソロモンの神殿ができあがるまで、そこに幕屋をはって、日々レビ人や祭司たち、そして民が礼拝できるようにしたのです。これが「ダビデの幕屋」です。その大きな特徴は…

- ① 契約の箱を誰でも見ることができた
- ② モーセの幕屋は「犠牲の供え物」が中心だった
ダビデの幕屋は「賛美の供え物」が中心だった

そして神様は、なんと終わりの時代、このダビデの幕屋を回復させる！と仰っています。(アモス9章11節/使徒行伝15章16～18節)。

